

平成 19 年度ホタテガイ採苗情報（第 4 報）

平成 19 年 5 月 16 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「宮古湾と広田湾で付着稚貝数は増加。」

1 ラーバの出現状況

5 月 15 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、殻長 $200\mu\text{m}$ 未満が 14 個/トン、 $200\mu\text{m}$ 以上が 38 個/トンと前回調査時（合計 23 個/トン）より増加しました。

調査時の水深 10m 層の水温は 10.9°C と、前回調査時より 1.2°C 上昇し、平成 9～18 年の平均値より 1.8°C 高い値になっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

5 月 7 日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されています。

各調査点の付着数は 4～725 個/袋でした。宮古地区と大船渡地区広田湾の各点で付着数は増加し、その他の調査点では概ね横ばい状態となっています。

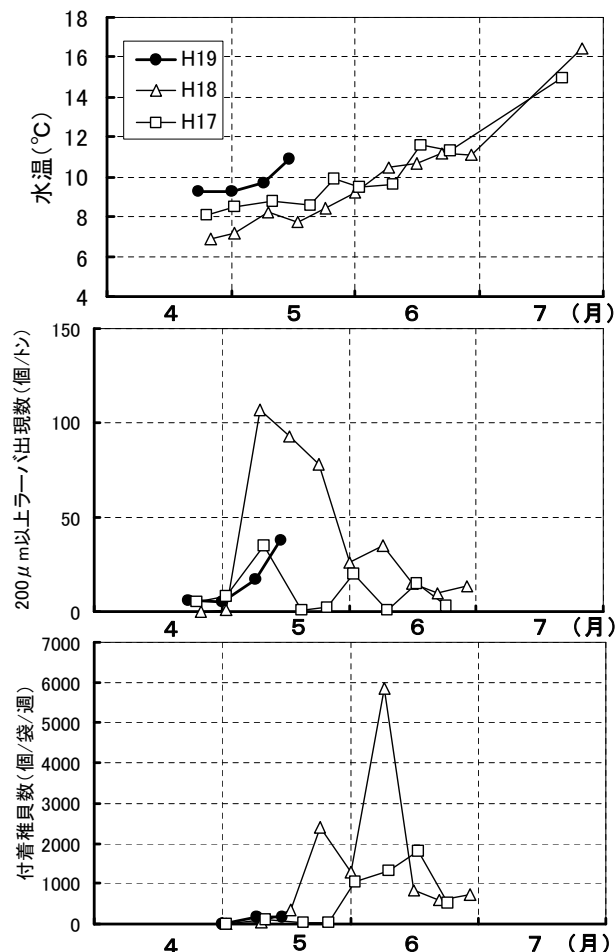


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

なお、唐丹湾では、付着稚貝の 4 割が付着直後の個体でした。

県中南部では、大型のラーバが増加し、付着稚貝も継続して確認されています。

しかも、付着直後の稚貝が多数確認されていることから、稚貝の付着は続いているものと考えられます。

最寄の採苗情報に注意しながら、採苗器の投入を進めてください。

次報は、5 月 24 日に発行する予定です。

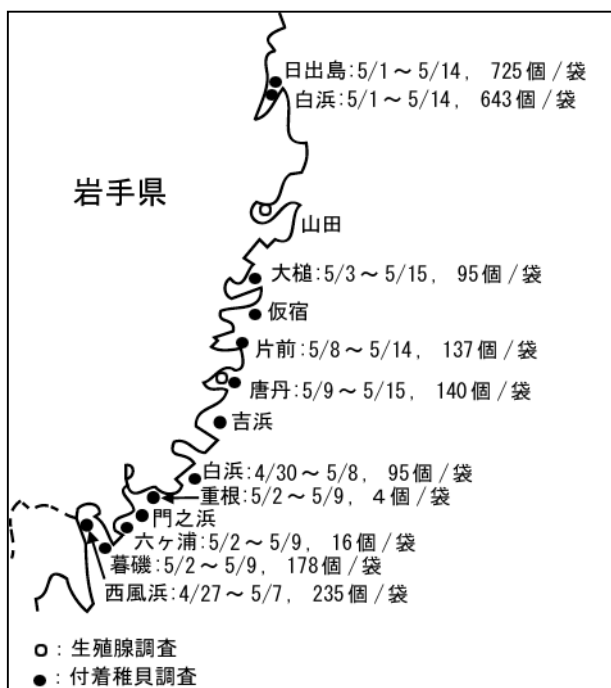


図 調査点と付着稚貝調査結果